

柏崎刈羽原子力発電所の人身災害状況と 安全管理に関する取組について

平成21年11月4日



東京電力

TEPCO

I. 柏崎における至近の災害事象

①仮設エレベータ引き込まれ事象：左内転筋挫傷（軽傷Ⅱ）

日時：平成21年9月30日 9時20分頃

②タワークレーン補強材はさまれ事象：左示指圧挫創（不休）

日時：平成21年9月30日 10時00分頃

③蒸気加減弁転倒はさまれ事象：右脛骨幹部開放骨折（重傷）

日時：平成21年10月2日 14時20分頃

④はしご昇降口墜落事象：頭蓋骨骨折、急性硬膜外血腫（軽傷Ⅱ）

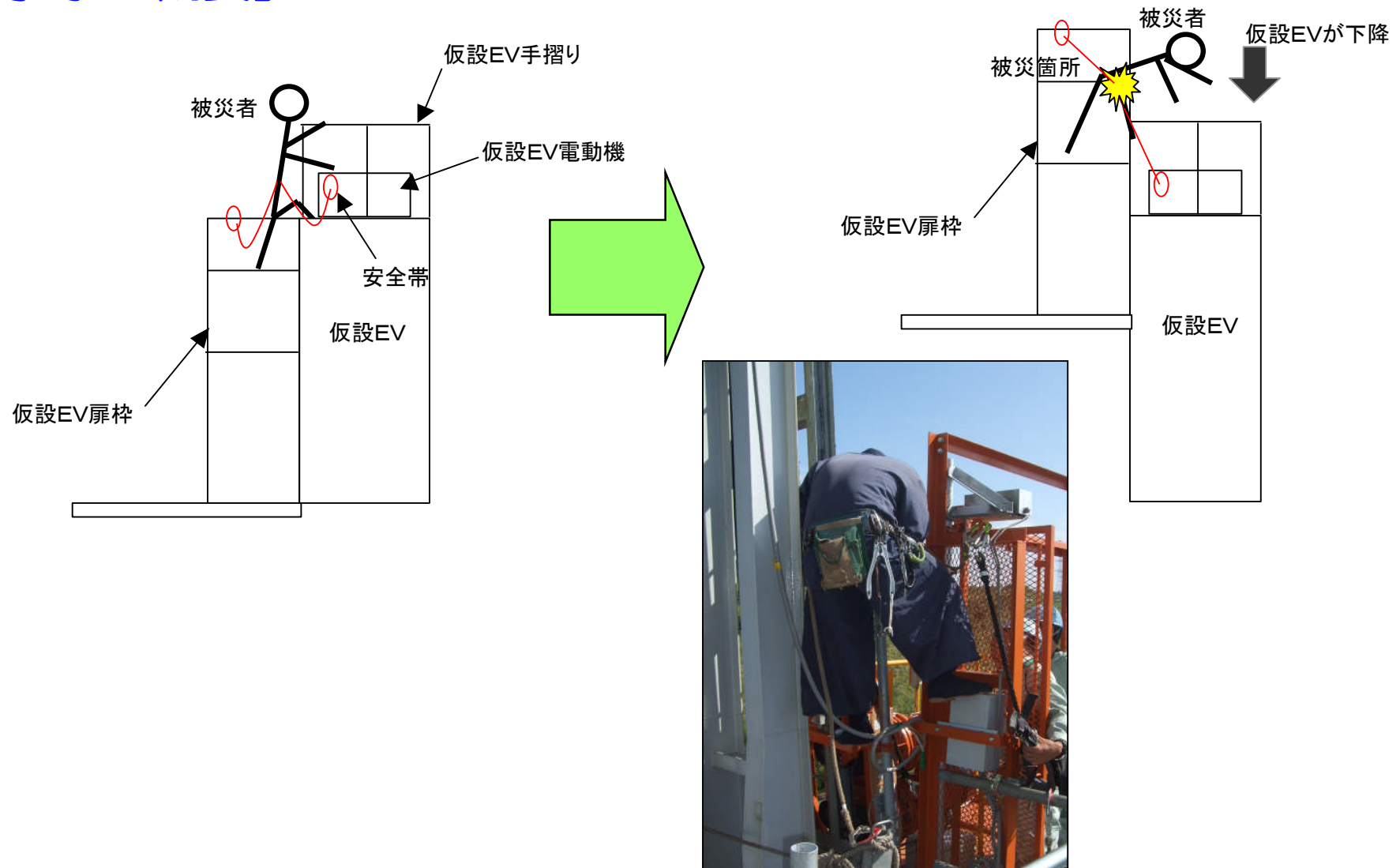
日時：平成21年10月6日 15時05分頃

⑤削孔機でのはさまれ事象：左母指挫創（不休）

日時：平成21年10月20日 5時10分頃

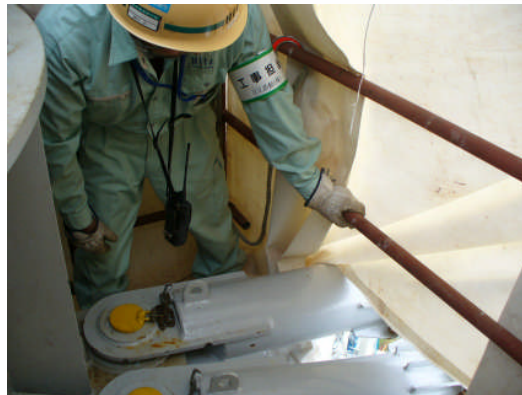
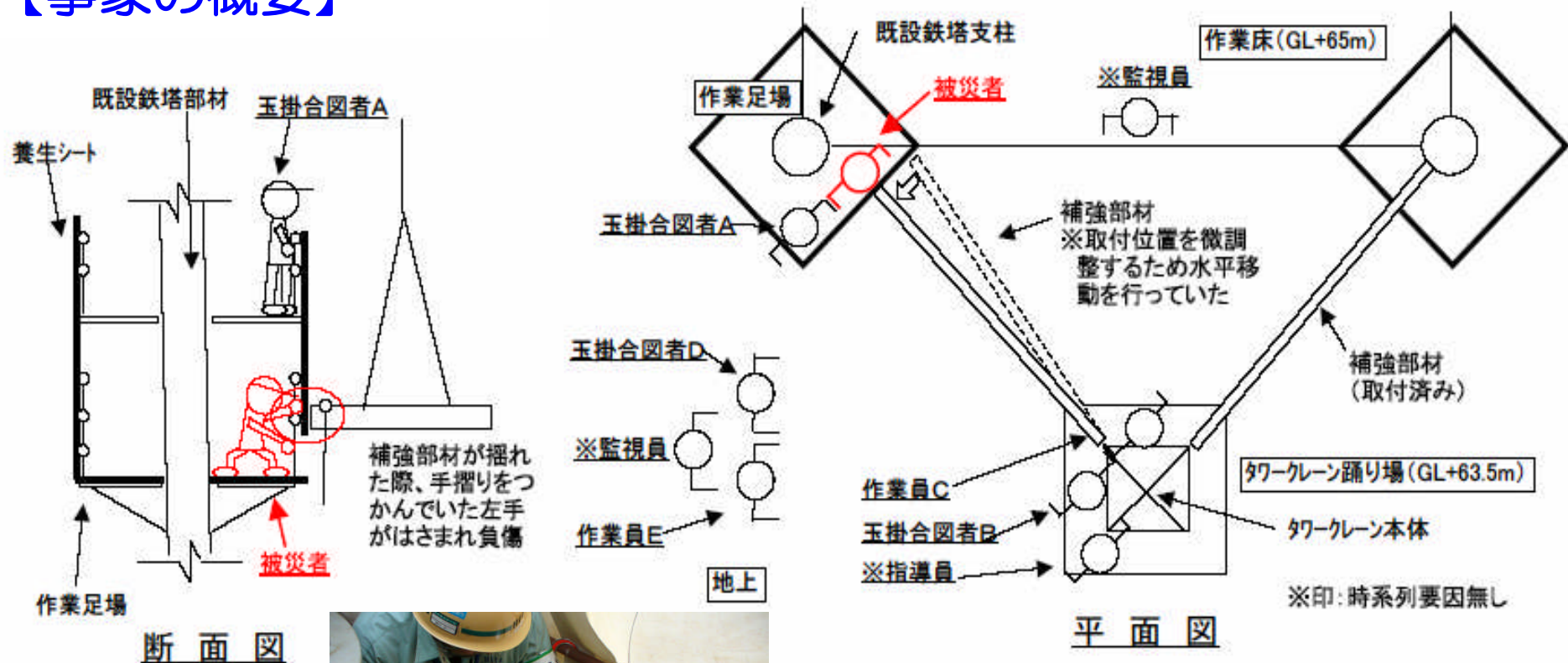
Ⅱ-1. 仮設エレベータ引き込まれ事象

【事象の概要】



Ⅱ-2. タワークレーン補強材はさまれ事象

【事象の概要】



Ⅱ-3. 蒸気加減弁転倒はさまれ事象

【事象の概要】



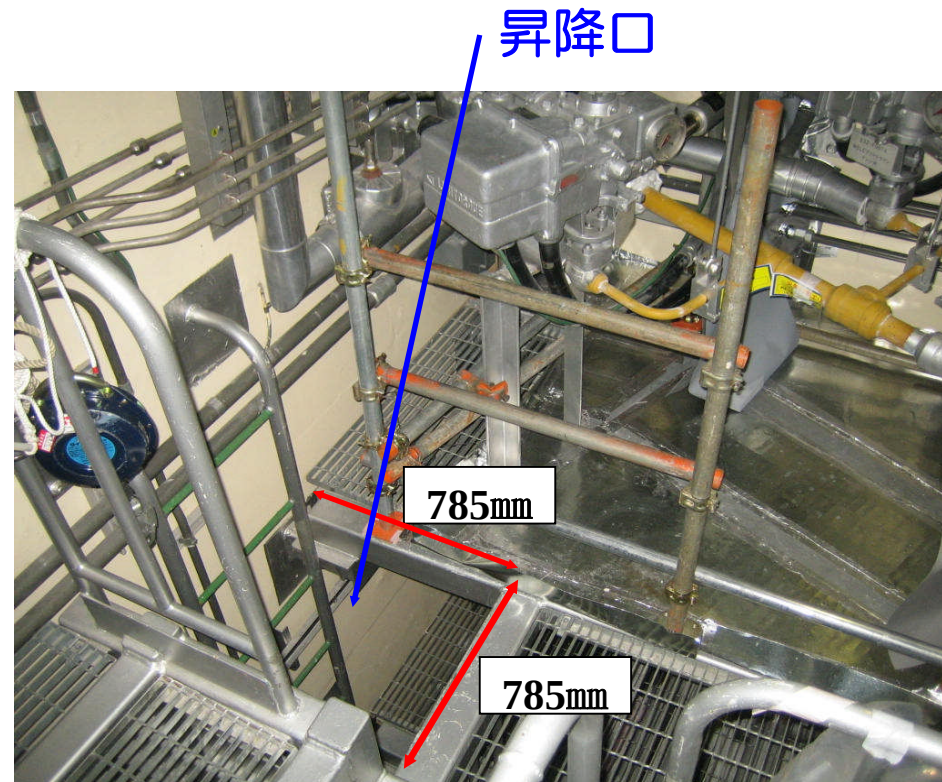
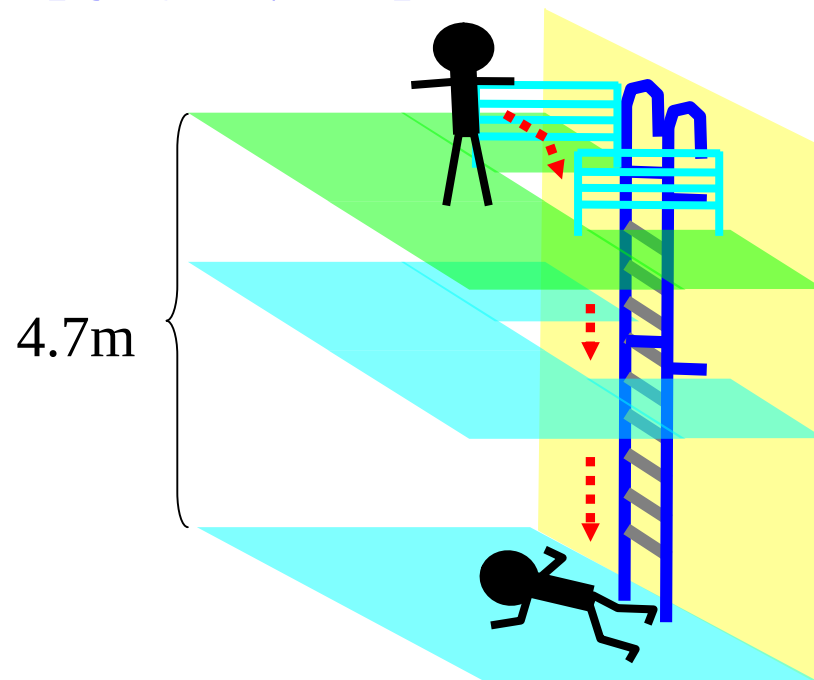
被災者



蒸気加減弁体・弁棒

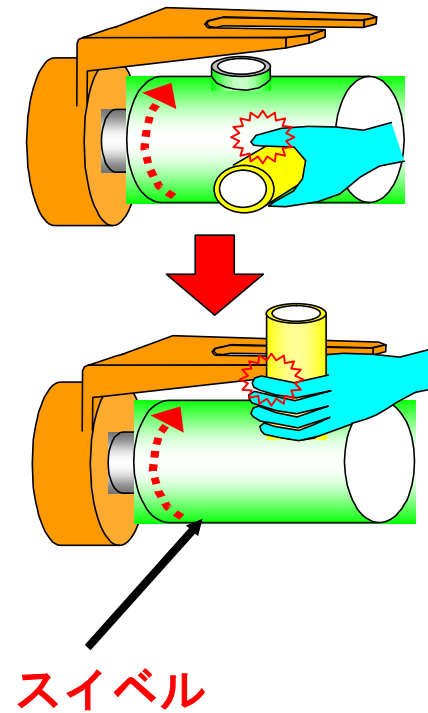
Ⅱ-4. はしご昇降口墜落事象

【事象の概要】



Ⅱ-5. 削孔機へのはさまれ事象

【事象の概要】



Ⅲ. 共通的な再発防止策（Ⅱ-1～4）

【共通要因分析による再発防止対策】

- ①危険予知活動（TBM-KY）の強化：
 - ・作業班は現場で作業エリアの確認を行い、現場でTBM-KYを実施すること
 - ・災害のリスクを考慮した上で強化すべきKY活動を選定し、現場にて直接指導すること
- ②作業班長の業務遂行時の環境向上：
 - ・災害防止責任者は、事前検討会、TBM-KY等を通じて、確実に履行すべき安全処置を明示し、作業班長に認識させる
 - ・作業班長は手順、工程等の変更が生じた際は、工事担当者と協議の上で作業継続の判断を行い、再度TBM-KYを実施する
- ③重大災害防止のための安全処置の強化：
 - ・災害防止責任者は、事前検討会、TBM-KY等を通じて、危険作業における重大災害防止の処置を講じるにあたっては、必ず2つ以上の処置を検討させ、講じさせる。
- ④元請に対する現場管理強化の指導：
 - ・当社は元請に対して、上記強化策の確実な履行について指導するとともに、実施状況を事前検討会や日常の工事監理で確認する。

IV-1. 作業安全の再確認

すべての作業を中断し、作業手順の再確認を遵守を徹底



施工要領書読み合わせ状況

作業場所に潜む危険の徹底的な点検と是正を実施（800箇所の作業現場）



作業現場確認状況

IV-2. 安全活動状況



作業前の事前検討会(安全対策、作業手順の確認)



KY活動



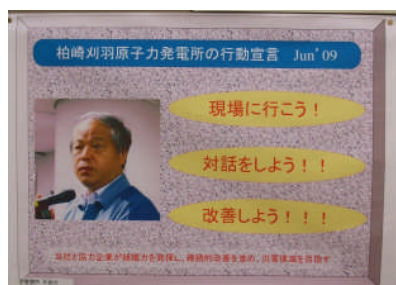
ヒヤリハットの活用



災害防止のパトロール



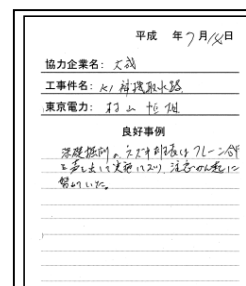
防火パトロール



行動宣言ポスター



現場での対話



現場での感想を伝達



経営層からの訓辞



安全の声かけ運動



安全決起大会



危険体験学習



危険予知研修会



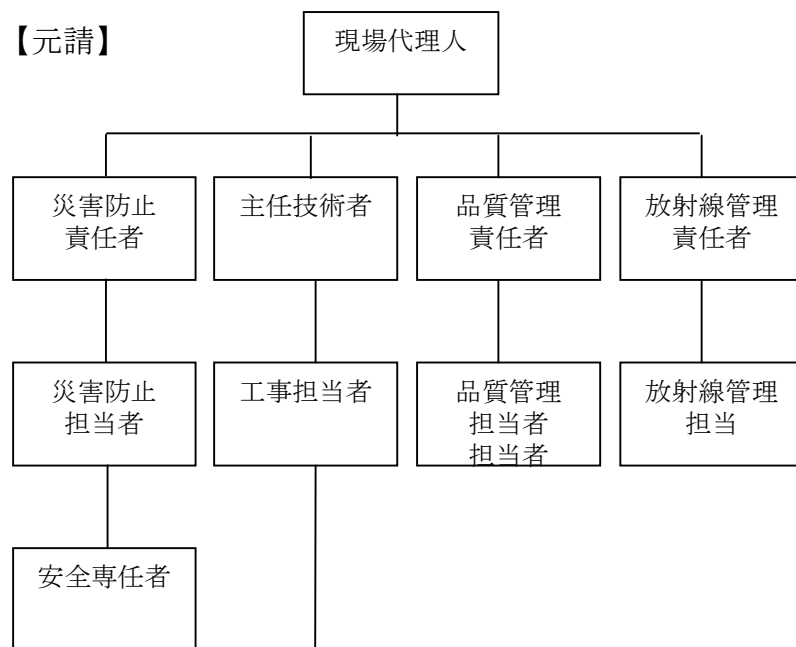
新規入構者等の腕章



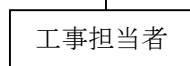
安全活動の掲示板

Ⅳ-3. 参考 工事請負体制

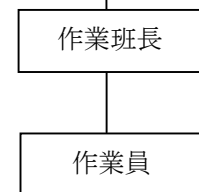
【元請】



【一次企業】



【二次企業】



【東京電力（発注者）】

